

2024年度中川まちづくり活動レビュー

2024年度活動方針	地域主担当	行政担当	活動結果と課題（地域）	活動結果と課題（区役所）
1. 緑地・緑道の魅力アップ (1)くさぶえのみち再整備までに、急を要する問題箇所は、随時土木事務所に改善依頼を行う。	(1)くさぶえのみち愛護会	(1)土木事務所	1.緑地・緑道の魅力アップ (土木) 特段の情報はありませんでした。	(土木) 特段の情報はありませんでした。
(2)山崎公園と牛久保公園、烏山公園里山保全樹林地保全管理計画については、2024年度計画を地域で応援していく。	(2)牛久保公園愛護会 烏山公園愛護会 山崎公園愛護会	(2)土木事務所	・烏山公園はフォローアップ研修実施 ・他の牛久保公園や山崎公園含め、保全管理計画に基づいて区役所と連携した。 (山崎公園) 「あさざ池復活作戦」の継続として、流入水路・沈殿槽の掃除などを継続。アサザは復活しつつある。 https://guruttoryokudo.jp/localgroups/yamazaki ・里山の湧水？を補完し、あさざ池の湧水を防止するための水源設備の設置を希望する。	(土木) 愛護会と調整し、10/27（日）に烏山公園のフォローアップ研修（保全管理計画の実施状況の現場確認等）を行いました。 他の牛久保公園や山崎公園を含め、保全管理計画に基づいて作業を公園愛護会と一緒に協議しながら、樹木の維持管理をしていきます。作業内容や時期について、個別に担当より公園愛護会長へ連絡・調整させていただきます。
(3)公園、緑道の美化、保全に、愛護会を中心に地域住民が参加していく。	(3)各愛護会	(3)土木事務所	各愛護会が積極的に参加を呼びかけ、公園や緑道の美化、保全活動を行った。 https://guruttoryokudo.jp/localgroups	(土木) 個別の要望については予算と優先度を見ながら対応を検討していきます。
2. 早瀬川の魅力アップ (1)早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG) ・地域緑のまちづくり事業2024年度計画を推進する。 (2)早瀬川河川管理道路 ・交通安全と地域まちづくりの観点で関係者による検討会を実施する。	(1)HRG運営会/中川つなぐ会 (2)ぐるっと緑道	(1)区政推進課 (2)区政推進課	2.早瀬川の魅力アップ (1)早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG) ・花壇の植替え、新規緑化工事を計画通り推進している。 https://guruttoryokudo.jp/archives/category/hrg_activities (課題) ・助成金終了後の活動をどうやるか。 ・メンバーをどう増やしていくか。 (2)早瀬川河川管理道路 ●県治水事務所(2024.10.8)打ち合わせ （担当者見解） ①道路の維持管理上の観点からは車両通行止めが望ましい。しかし、現状変更するには、横浜市等からの具体的な要請が必要である。 ②過去の車止めを撤去した過程にルール上問題があれば、車止めを復活することができるが、書類が残っていないので経緯は分からない。 ●都筑区区政推進課・土木事務所(2024.10.21)打合せ 経緯は分からない。区としては、現状変更する検討はしていない。	(1)早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG) （区政）・定例活動とHRG運営会総会に数回参加し、現状把握と交流を図りました。 ・魅力アップのための新たな緑化整備についての公共施設管理者との協議、維持管理に必要な消耗品購入等を実施しました。 ・広報よこはま都筑版 11月号にHRGの紹介記事を掲載しました。 (課題) 地域との連携を深めるために三者協定の締結を検討しています。 (今後の検討) GREEN×EXPO 2027のプロモーションをHRGと連携して取り組みたいと考えます (2)早瀬川河川管理道路 （区政）10/21に相談対応を実施しました。
3. 駅前商業地区のバリアフリーを検討していく (1)高齢者、子どもに優しいベンチ配置の見直しを行う。 (2)中川駅前広場とケアプラ前の歩専路のブロック浮きをチェックしていく。	(1)(2)ぐるっと緑道 中川駅前商業地区振興会	(1)(2)土木事務所	3.駅前商業地区のバリアフリーを検討していく (1)高齢者、子どもに優しいベンチ配置の見直しを行う ・ベンチの再配置計画を作成し、占用許可を土木事務所と協議中である。	(1)（土木）地域からの占用申請が必要になります。申請がありましたら占用基準に基づいて対応します。 (2)（土木）連絡会から具体的な点検箇所を指摘を受け、アスファルト補修と駅前が街路樹周りの根上がり対策工事を実施しました。また、歩行に支障となる危険なブロックの浮き等を確知した際は、速やかに補修等
4. 歩行者・自転車の安全 (1)自転車交通安全ルールを知る、守ることが重要である。行政、学校、町内会等が協力し、ルールのPR、教育を行う。 ①「自転車安全運転マナーのまち」としてPR活動を行う。	(1)自転車対策委員会 ・町内会/自治会 ・中川駅前商業地区振興会 ・学校、PTA、おやじの会	(1)地域振興課 土木事務所 都筑警察署	4. 歩行者・自転車の安全 (西小) 1 学校では、毎年春に、1年生と4年生が交通安全教室において、安全な歩行の仕方、自転車の乗り方等を学習している。 その際、都筑警察署、都筑区交通安全教室、中川西小学校PTAの校外委員の協力を得ている。 ・1年生---歩行の仕方 ・4年生---自転車の乗り方 2 中川西小学校おやじの会によるスタンプラリー 3 日常的に、または機に応じて、子どもたちに交通安全、登下校の安全について、全体またはクラス単位で指導を行っている。 (ぐるっと緑道) 関連団体に呼びかけ、商業地区遊歩道のブランター、街路灯柱に注意の掲示を行った（PTA、ハマロード、区役所）。 https://cafenakagawa.jp/2024/08/13/9230/	(地振・土木) ・中川西小等で、はまっ子交通あんぜん教室を開催し、都筑警察署、都筑交通安全協会及び都筑交通安全母の会が中心となり、死角・巻き込み・衝突実験、自転車乗車時のヘルメット着用の必要性、自転車点検、信号の見方等の指導を実施しました。 ・広報よこはま（都筑区版）7月号にて、交通安全について理解を深め、通学路での安全な行動を促すための特集記事を掲載しました。

(2) 小学校スクールゾーン委員会と連携していく。	(2) 小学校/PTA 中川西町内会 牛久保町内会 牛久保西町内会	(2) 地域振興課 土木事務所 都筑警察署	(西小) スクールゾーン防犯対策協議会 毎年、交通安全及び防犯の観点から、PTA校外委員により、小学校区内を点検し、改善点を行政、土木、警察に伝え、対策の検討を依頼している。 (町内会・自治会) 中川西小、都筑小、牛久保小、すみれが丘小のスクールゾーン対策協議会に参加。学援隊が登下校の交通安全(ハマロードサポーター) 商業地区の花と香りのみちで自転車と子供の交錯事故があったことを受け、遊歩道のプランター、街路灯柱に注意の掲示を行った(PTA、ハマロード、区役所)。	(地振・土木) スクールゾーン対策協議会に出席しました。 要望を受け、牛久保公園付近の道路に減速ドットの表示、中川西保育園前の歩道のとまれ表示の補修、牛久保西ひかりがおか公園出入口にとまれ表示の新設、宿之入公園幹線道路沿い低木の刈込、ゆうばえ歩道橋階段付近の植栽の剪定・刈込、山崎公園噴水広場階段脇の樹木の除去等の対応をしました。
(3) 山崎公園運動広場横の図路 ・区役所は公園利用の原則を近隣に説明し、掲示などにより走行禁止の押し歩きを徹底する。 ・牛久保中川線(中川駅～センター北)の道路/歩道の自転車通行の実情、課題を調査する。 上記2点の効果と課題を明確にした上で、連絡会から提案のあった自転車走行推奨路(中川西小⇒山崎公園⇒都筑小)の設定が課題改善に繋がるか調査検討を行う。	(3) 自転車対策委員会 ・山崎公園愛護会	(3) 土木事務所	(3) 山崎公園運動広場横の図路 ① 区役所の公園内の押し歩き指導により、公園内の自転車走行は少なくなった感じがする。 ② 牛久保中川線(中川駅～センター北)の道路/歩道の自転車通行の実態調査まで行わなかったが、 ・歩道を走る自転車の数は、朝と夕方に通勤、保育園の送り迎えは多く、大きな変化はない。 ・法規通りに車道を走る自転車の数は増加している。 ・中川駅方向から遠回りの自転車走行推奨路を作っても、利用する人は少ないと思われる。 (今後) 1. 公園内は押し歩きの徹底(土木事務所の他の公園と同様の掲示、押し歩きをせざるを得ないような公園出入口の工夫・改善) 2. 歩道走行については、原則禁止であることをPRする。その上で歩行者優先のマナーの徹底すること。	(土木) 令和5年に近隣に説明とチラシ配布、現地掲示を実施済みです。今後調査検討結果や課題がまとまれば対応について協議します。
5. 都筑らしい文化の醸成 ・地域が協力する交流イベントを継続する。 ・イベント情報の地域共有化	全団体	地域振興課	5. 都筑らしい文化の醸成 ① 地域が協力する交流イベントを継続する。 ・ワイワイまつり、牛久保盆踊り大会、まちなかマーケット等で地域の協力が一段と進んだ。 https://cafenakagawa.jp/2024/07/16/9187/ ② イベント情報の地域共有化 ・毎月のNRPイベントスケジュール、振興会HP、ぐるっと緑道HPとFBで地域のイベント情報が広められている。 https://guruttoryokudo.jp/	(地振) ・2か月に1回行われる中川まちなかマーケット(ハロウィンイベント含む)や乾杯フェスタへの後援を行いました。 ・ハロウィンバスツアーの広報よこはま10月号掲載と当日のサポートをしました。 (課題) ・イベントの認知度の向上
6. 地域活動の担い手を増やす (1) 地域の様々な団体が連携協力し、情報を発信し、地域活動のすそ野を広げていく。 ① 愛護会が集まって、次代の担い手を増やすをテーマに意見交換会を行う。	(1) 全団体 ① 愛護会 ぐるっと緑道(開催)	(1) 地域振興課 ① 土木事務所	6. 地域活動の担い手を増やす (1) 地域の様々な団体が連携協力し、情報を発信し、地域活動のすそ野を広げていく。 ⇒ 山公園愛護会、牛久保公園愛護会では小学校おやじの会メンバーの参加が広がった。 ① 愛護会が集まって、次代の担い手を増やすをテーマに意見交換会を行う。 ⇒ 6/9に意見交換会を行い、各愛護会の実情を報告し合った。	(地振) ・都筑の自治会町内会応援事業「都筑スタイル」に参加いただくことを通じて、自治会町内会の課題解決や魅力アップ、他の自治会や活動団体との交流を支援しました。 ・NPO法人情報誌ANCHOR(アンカー)の掲載団体の協力のもと、活動エリアや分野を超えたNPO法人同士の交流会を開催しました。 (課題) 自治会町内会を含む地域活動団体の担い手不足 (土木) 話合いに参加し、公園愛護会の紹介、他区の担い手を増やす取組事例の紹介を行いました。
(2) 保育園、幼稚園、小学校の親子、中学校、都市大学との連携により、若い参加者を増やしていく。	(2) 全団体	(2) 地域振興課	(ぐるっと緑道) ・NRPで花植えの小学生親子参加プログラム実施 https://cafenakagawa.jp/2024/11/20/9397/ ・クリーン作戦で草取りオリンピック https://cafenakagawa.jp/2024/08/06/9216/ (おやじの会) 西小、牛久保小、西中おやじの会がさまざまな地域イベントに参加した。 https://nakanishioyaji.main.jp/ (都市大学生) ワイワイまつり、まちなかマーケット、牛久保盆踊り大会、HRG活動の参加	(地振) ・都筑多文化・青少年交流プラザ(つづき MY プラザ)と都筑区青少年指導員連絡協議会主催の小学校5・6年生及び中高生のための夏休みボランティア体験事業「はあとdeボランティア」を、地域活動団体等の協力のもと開催しました。 ・都筑区民活動センターの取組である「交流サロン」を都市大学と連携して、学園祭の中で開催しました。

(3) 都市大学/学生組織と地域の協業関係を更に発展させる。 ①愛護会と都市大学生連合会による、連携協力の話し合いを行う。	(3) 都市大 全団体 ①都市大 愛護会 ぐるっと緑道 (開催)	①土木事務所	・ワイワイまつり、まちなかマーケット、牛久保町内会益踊りに都市大学生連合会が参加した。 ・都市大留学生カフェを地区センターで2回開催し、好評を得た。 https://www.chiiki.tcu.ac.jp/report_new/20250327-10728.php ・愛護会と都市大学生連合会による、連携協力の話し合いを行い、地域から都市大学生連合会に具体的な提案を行った。 2月に横浜キャンパスISO委員会から提案のあった活動に参加したい旨の回答があり、今後来期に向けて打ち合わせを行う。	(土木) 話し合いに参加し、公園愛護会の紹介、他区の担い手を増やす取組事例を紹介しました。
7. 中川駅前商業地区の活性化 ①商業地区振興会の活動を応援、連携していく。 ②花と緑のまちづくり (NRP) による商業地区の魅力を継続していく。	①全団体 ②NRP 振興会	①地域振興課 ②土木事務所 地域振興課	7. 中川駅前商業地区の活性化 ①商業地区振興会の活動を応援、連携していく。 ・5回行われたまちなかマーケットに地域団体が参加した。 参加団体：ぐるっと緑道、NRP、HRG、中川ケアプラザ、中西おやじの会、西中おやじの会、中川西町内会、都市大学生連合会 https://nakagawaekimae.com/ ・ハロウィン中川まち歩き実施 参加団体：ぐるっと緑道、振興会、保育園、地区センター、縁ハウス https://cafenakagawa.jp/2024/10/29/9357/ ②花と緑のまちづくり (NRP) による商業地区の魅力を継続していく。 ・NRP会は花壇の植替えと剪定、散水による維持活動を行った ・12月にクリスマス、正月リースを一新して掲示した。 ・振興会とぐるっと緑道は商業地区事業者から2年に1度の募金活動を行い、18万円が集まった。 https://guruttoryokudo.jp/activities/nrp/nrp2024	(地振) ・2か月に1回行われる中川まちなかマーケット (ハロウィンイベント含む) や乾杯フェスタへの後援を行いました。 ・ハロウィンバスツアーの広報よこはま10月号掲載等による広報支援と当日のサポートを行いました。 (課題) ・区内の商店街の認知度向上と、それに伴う集客力の向上を図ること。 ・区内の商店街との連携を図りながら取り組んでいくこと。
8. 中川1-4丁目の地域緑のまちづくり ・2024年度計画の確実な推進	中川つなぐ会	区政推進課 土木事務所	8. 中川1-4丁目の地域緑のまちづくり ①2024年度計画の確実な推進 ・自宅緑化鉢植えを12戸で実施 ・第2地区花壇のリニューアル ・HRG鍛冶橋口等の緑化(2月末に工事予定) ・既設花壇、プランターの花植替え ・中川西遊歩道の美化活動 ・種から育てる花苗、剪定講習会 (課題) 助成金終了後の活動をどのように運営していくか。 https://guruttoryokudo.jp/archives/category/midori-katsudo2024	(区政) HRGについては、2 (1) 参照。
9. ハウスクエア横浜の解散に伴う跡地問題 ・まちづくり連絡会で特別委員会を発足させ検討を行う。 (中川西町内会、振興会、ぐるっと緑道) ・地域まちづくりとして地域の希望、意見をまとめる。 ・横浜市と協力し、地域の希望意見を基に地権者と協議していく。	特別委員会	区政推進課	9. ハウスクエア横浜の解散に伴う跡地問題 ・中川まちづくり連絡会に特別委員会を設置し、6名の委員が横浜市及び東急と4回意見交換会を開催した。これらの協議を踏まえ、横浜市が12/19 (参加者56名) ・12/21 (参加者84名) の両日、ハウスクエア横浜跡地まちづくり構想案説明会を開いた。 (課題) ・地元の要望によってまちづくり構想案に盛り込まれた「広場・コミュニティスペース」の敷地の所有権を誰が持つのか (権利関係の明確化)。 ・「広場・コミュニティスペース」をどのように維持管理していくか。 ・「広場・コミュニティスペース」について、今後とも横浜市が補助金や助成金などで積極的に関わり続ける仕組みをいかに構築するか。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/jutaku/shiryu/boshu/public.files/0098_20241220.pdf	(区政) 跡地利用の計画が固まる前に、地域の意見を取り込んでもらうべく、地域の皆様、事業者、横浜市の3者で協議を実施しました。協議の結果を踏まえまちづくりの方向性をまちづくり構想という形で示し説明会及び意見募集を実施しました。 (課題) 地域の交流拠点になる広場と屋内空間の管理運営について引き続き3者で調整していきます。

10. まちづくりプラン/まちづくり連絡会のレビュー ・9年間のまちづくりプラン/まちづくり連絡会の活動をレビューする。 ・今後のまちづくりプランのあり方を検討する。	ぐるっと緑道 後藤研究室	区政推進課	10. まちづくりプラン/まちづくり連絡会のレビュー (1/22に後藤研究室中間レビュー) ○プランがあること、プランに関わることへの意義は大きいと多くの団体が考えている。 ○年1回の連絡会でプランが意識化される。プランに対する課題が生じた時にプランは意識化される。 ×プラン認知度の低さと後継者不足が課題である。 (区役所) ○地域が主体となっている取組は大変貴重である。 △地域が主体となって作成したプランに対して行政は評価する立場にない。 ○毎年まちづくり連絡会でレビューを行い、次年度方針を決めることがプランを推進している。 ○連絡会が母体であることを活かし、プランになかったまちづくり(ハウスケア跡地問題)にも対応している。 ×中川まちづくりプランの法的根拠が曖昧である。 (ぐるっと緑道) ○まちづくり連絡会による推進と結果は成果を上げることができた。 ・1団体でできないことや共通する課題を解決することができた。 ・区役所との連携で課題を解決できた。 ・共通の課題認識を持てた。 △プランに関する意識、認識が不十分である。 ・プランは地域と区役所の共通目標にもかかわらず、区役所は住民だけの目標として受け身の活動になっている。 ・住民側も自分のプランとまで考えていない。 ×連絡会の計画サイクルと区役所の計画サイクルが合っていない。 ・まちづくりプランが3月に決まっても、区役所の計画は既に決まっている。 ×早淵川関係の方針について、HRG以外は行政の取組がない。	(区政)都市大学が実施したレビューに回答しました。個別の課題への対応について引き続き検討していきます。
11. その他			高齢者に優しいまちづくり ・中川西町内会で「認知症の方が行方不明になった場合の検索アプリ」の導入推進を始めた。 https://guruttoryokudo.jp/wp-content/uploads/2025/03/ryokudo_2025.3-4.pdf	
			子ども・子育て世代に優しいまちづくり ・連絡会に小学校、中学校の保護者の関係団体が参加している。これに加えて、未就学児の保護者の視点も考慮する必要がある。	